



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月27日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8014 URL <https://www.chori.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀆 一夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	205,835	30.8	7,377	86.2	8,158	86.7	5,851	213.5
2021年3月期第3四半期	157,316	—	3,963	△40.9	4,368	△39.2	1,866	△60.6

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,846百万円(177.8%) 2021年3月期第3四半期 2,464百万円(△44.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	237.81	—
2021年3月期第3四半期	75.91	—

(注) 2021年3月期第3四半期売上高の対前年同四半期増減率は、2021年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	131,191	63,787	48.6
2021年3月期	110,591	58,831	53.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 63,747百万円 2021年3月期 58,795百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	23.00	37.00
2022年3月期	—	42.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	29.5	9,500	159.3	10,000	114.8	6,800	445.2	276.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社スミテックス・インターナショナル  
(2022年1月1日付で株式会社STXへ商号変更。)

除外 1社 (社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	25,303,478株	2021年3月期	25,303,478株
2022年3月期3Q	694,352株	2021年3月期	703,266株
2022年3月期3Q	24,605,597株	2021年3月期3Q	24,582,733株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大長期化の影響を受け、経済活動も引き続き一定の制限を強いられました。日本経済は、緊急事態宣言期間が長期間に及んだ影響を受け、個人消費は低迷しました。2021年10月に緊急事態宣言が解除されたものの、新たな変異株の感染拡大が見られ、感染症の収束は不透明な状況です。世界経済は、欧州や米国、中国を中心にウィズコロナ下での経済活動の回復が進みましたが、新たな変異株への感染が欧米諸国を中心に急激に拡大しており予断を許さず、また、原材料価格の高値推移、コンテナ不足による物流停滞や輸送費用の高騰及び世界的な半導体供給不足等に起因したサプライチェーンの混乱といった要因も加わり、先行は依然不透明な状況が続いています。

このような状況下、当社グループは、2020年5月29日に発表した中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」の基本戦略に基づき、激変する社会・経済環境へ即応すべく、リスク管理を始めとした「守り」の施策を一層徹底する一方、持続的成長のための基本戦略を推進しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、大幅増収大幅増益となりました。売上高は前年同期比30.8%増の2,058億35百万円となりました。利益面では、増収効果等による売上総利益の増加に加え、前年同期に中国の化学品製造会社グループに対する貸倒引当金繰入額23億77百万円を販売費及び一般管理費に計上したことの影響により、営業利益は前年同期比86.2%増の73億77百万円、経常利益は前年同期比86.7%増の81億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比213.5%増の58億51百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	157,316	205,835	48,518	30.8
営業利益	3,963	7,377	3,414	86.2
経常利益	4,368	8,158	3,789	86.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,866	5,851	3,985	213.5

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 繊維事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	65,905	81,627	15,722	23.9
経常利益	2,839	2,309	△530	△18.7

当セグメントにおきましては、売上高は、株式会社スミテックス・インターナショナル（2022年1月1日付で株式会社STXへ商号変更。以下、同じ。）の新規連結子会社化等により、前年同期比23.9%増の816億27百万円となりました。一方、セグメント利益（経常利益）は、個人消費の低迷により衣料品分野が低調に推移したことに加え、原材料価格の高騰の影響を受け、前年同期比18.7%減の23億9百万円となりました。

## ② 化学品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	89,450	120,767	31,317	35.0
経常利益	997	5,120	4,122	413.1

当セグメントにおきましては、全般的に堅調に推移しました。特に有機化学品、無機化学品及びファインケミカル分野が好調に推移したことにより、売上高は、前年同期比35.0%増の1,207億67百万円となりました。利益面につきましては、増収効果による売上総利益の増加に加え、前年同期に中国の化学品製造会社グループに対する貸倒引当金繰入額23億77百万円を販売費及び一般管理費に計上したこと（当第3四半期の計上なし）の反動により、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比413.1%増の51億20百万円となりました。

## ③ 機械事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	1,912	3,383	1,471	77.0
経常利益	501	686	185	37.0

当セグメントにおきましては、欧米州・アフリカ等における自動車の需要回復の影響等を受け、売上高は、前年同期比77.0%増の33億83百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比37.0%増の6億86百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,311億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ205億99百万円増加しました。株式会社スミテックス・インターナショナル及びその海外子会社2社の連結子会社化等に伴い、主に受取手形及び売掛金が168億57百万円増加、商品及び製品が53億32百万円増加、顧客関連資産を10億18百万円計上し、また現金及び預金が20億90百万円減少、関係会社預け金が20億円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、674億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ156億43百万円増加しました。株式会社スミテックス・インターナショナル及びその海外子会社2社の連結子会社化等に伴い、主に支払手形及び買掛金が112億67百万円増加、短期借入金が47億65百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、637億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億55百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により58億51百万円増加、為替換算調整勘定が9億99百万円増加したこと、また配当金の支払いにより15億99百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月11日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,828	12,738
関係会社預け金	3,000	1,000
受取手形及び売掛金	56,141	72,998
商品及び製品	10,665	15,997
仕掛品	816	1,023
原材料及び貯蔵品	4	5
未着商品	751	1,086
その他	4,442	5,931
貸倒引当金	△114	△196
流動資産合計	90,537	110,585
固定資産		
有形固定資産	2,493	2,032
無形固定資産		
のれん	491	1,179
顧客関連資産	—	1,018
その他	335	386
無形固定資産合計	827	2,585
投資その他の資産	16,733	15,988
固定資産合計	20,054	20,605
資産合計	110,591	131,191
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,622	50,889
短期借入金	1,809	6,575
1年内返済予定の長期借入金	113	113
未払法人税等	1,703	890
賞与引当金	686	497
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	4,119	4,707
流動負債合計	48,097	63,715
固定負債		
長期借入金	358	273
繰延税金負債	955	980
退職給付に係る負債	2,254	2,333
その他	94	100
固定負債合計	3,662	3,687
負債合計	51,759	67,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,792	1,799
利益剰余金	49,903	53,846
自己株式	△698	△689
株主資本合計	57,798	61,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,663	1,673
繰延ヘッジ損益	138	112
為替換算調整勘定	△705	294
退職給付に係る調整累計額	△99	△88
その他の包括利益累計額合計	997	1,990
非支配株主持分	36	40
純資産合計	58,831	63,787
負債純資産合計	110,591	131,191



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	157,316	205,835
売上原価	137,742	183,553
売上総利益	19,574	22,282
販売費及び一般管理費	15,611	14,904
営業利益	3,963	7,377
営業外収益		
受取利息	263	176
受取配当金	174	281
持分法による投資利益	171	131
為替差益	—	216
債務勘定整理益	65	57
雑収入	154	204
営業外収益合計	830	1,067
営業外費用		
支払利息	61	57
手形売却損	74	96
為替差損	221	—
雑支出	67	133
営業外費用合計	425	287
経常利益	4,368	8,158
特別利益		
固定資産売却益	0	318
投資有価証券売却益	28	221
関係会社株式売却益	—	18
ゴルフ会員権売却益	1	—
特別利益合計	30	558
特別損失		
減損損失	—	21
関係会社整理損	259	16
投資有価証券売却損	25	7
固定資産処分損	8	2
投資有価証券評価損	158	—
その他	2	—
特別損失合計	454	48
税金等調整前四半期純利益	3,944	8,668
法人税、住民税及び事業税	2,029	2,737
法人税等調整額	103	76
法人税等合計	2,132	2,814
四半期純利益	1,811	5,854
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△54	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,866	5,851

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,811	5,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,217	10
繰延ヘッジ損益	△114	△26
為替換算調整勘定	△326	800
退職給付に係る調整額	10	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△134	197
その他の包括利益合計	652	991
四半期包括利益	2,464	6,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,521	6,844
非支配株主に係る四半期包括利益	△57	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,905	89,450	1,912	157,267	49	157,316	—	157,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	340	340	△340	—
計	65,905	89,450	1,912	157,267	389	157,657	△340	157,316
セグメント利益	2,839	997	501	4,339	16	4,355	13	4,368

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額13百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	81,627	120,767	3,383	205,778	57	205,835	—	205,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	341	341	△341	—
計	81,627	120,767	3,383	205,778	398	206,176	△341	205,835
セグメント利益	2,309	5,120	686	8,116	31	8,147	10	8,158

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額10百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社スミテックス・インターナショナル(2022年1月1日付で株式会社STXへ商号変更。)の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「繊維事業」のセグメント資産が10,668百万円増加しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2021年6月1日に行われた株式会社スミテックス・インターナショナル(2022年1月1日付で株式会社STXへ商号変更。)との企業結合について、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、無形固定資産である顧客関連資産に1,069百万円、繰延税金負債に328百万円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は1,745百万円から740百万円減少し、1,004百万円となっております。

なお、のれん以外の無形固定資産に配分された顧客関連資産の加重平均償却期間は11年であります。